

平成31年度 つるみ・地域元気づくり事業補助金 対象事業のご紹介

鶴見区役所 区政推進課 地域力推進担当

「つるみ・地域元気づくり事業補助金」とは

地域活動をやってみようかなと考えている皆様のきっかけづくりや、実際に地域活動をされている皆様を、補助金で支援します。

例えば、「サロン（多様な人々の居場所づくり）」、「高齢者向け健康体操」、「鶴見区の情報や魅力の発信」、「安心安全のまちづくり」など、地域の様々な課題解決に取り組む区民等の活動が対象で、補助期間は最長3年間です（毎年度申請が必要で、その都度審査を行います）。

次の2つの補助金があります。

○つるみ・地域のつながり応援事業補助金

○つるみ・元気アップ事業補助金

つるみ・地域のつながり応援事業補助金

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して実施する事業を支援します。

交付団体	事業名・主な内容	
1 サロンはなみずき運営委員会	<p>「サロンはなみずき運営」</p> <p>岸谷3～4丁目地区の中心にある岸谷公園集会所において、子どもから高齢者までの多世代が気軽に立ち寄ることができるサロンを運営し、地域住民の交流を深め、孤立することのない明るい住みよい地域づくりを目指す。</p> <p>○昼食時間を含めた和やかな雰囲気の中でのコミュニケーション</p> <p>○囲碁、将棋、麻雀、カードゲーム、手芸、折り紙等による交流</p> <p>○健康や安全な消費生活に関する講演会等の実施</p> <p>○「ひざひざワッくん体操」などの軽体操の実施</p>	3年目
2 つみれプロジェクト実行委員会	<p>「おなかま食堂」</p> <p>地域の食卓としての「食」をきっかけにした多文化・多世代の住民の出会いとつながりを促進する。地域のつながりづくりを実践していくことで、「孤立」のない地域を目指す。</p> <p>○3か月に2回の頻度で、町内会館において地域食堂を実施</p> <p>○一人暮らしの高齢者や両親共働きの子ども、保育園帰りの親子を「まちの家族」として受け入れる</p>	1年目
3 NPO 法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ	<p>「若者と高齢者をつなぐ交流ひろば」</p> <p>不登校の子どもたちの実態を知ってもらい、地域で不登校への理解を深める。また、不登校の若者たちのスキルを使って、地域の高齢者がスマホやラインの操作を楽しく学ぶ中で、交流を深め、地域の高齢者を元気にすることを目的とする。</p> <p>○子どもたちにいろいろな体験をしてもらいたい、との願いのもとに、地域の高齢者も招いての落語会を実施、子どもたちと高齢者の交流も</p> <p>○不登校の若者が高齢者に教えるスマホ・LINE講座の実施</p>	1年目

4	NPO 法人 史季の郷	<p>「地域の高齢者の健康増進を図る」</p> <p>地域の高齢者の健康増進を図り、要介護状態の予防と健康寿命の延伸を目指す。</p> <p>○地域の高齢者が主体的に参加できる各種活動を分科会形式で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 回想法 ● 脳トレ ● 歴史文化ウォーキング ● 手芸（つるし雛、お手玉、折り紙等） ● 園芸療法（農業体験）など 	1年目
---	--------------------	--	-----

※各団体からの申請内容をまとめたものです。

つるみ・元気アップ事業補助金

原則事業開始 3 年以内の事業を支援します。

交付団体	事業名・主な内容	
1 輝き西中町元気クラブ	<p>「市場西中町高齢者いきいき事業」</p> <p>体操や脳トレを通して、家に引きこもりがちな人達が外に出るきっかけをつくるとともに、現在の健康の維持に努め、健康寿命を延ばす老人の憩いの場所を作り、人と人のつながりも深める。</p> <p>○ラジオ体操、ペットボトル体操、セラバンド体操、ひざひざワッくん体操など</p> <p>○鈴、鳴子、ベル等を使った脳トレ</p> <p>○会員の得意な楽器の演奏を通した交流</p>	3年目
2 朝日町サロン実行委員会	<p>「朝日町サロン開催事業」</p> <p>主として一人暮らしの方及び家族と同居しているが日中は一人の高齢者を対象とし、これらの方の安否確認の一助とともに、参加者同士の親睦友好を図り、孤独死という不幸な出来事をなくすことを最大の目的とする。</p> <p>○参加者同士のおしゃべり、トランプ、花札、囲碁、将棋、麻雀等のゲーム、健康体操・脳トレ体操を行うサロンを月 1 回開催</p> <p>○カラオケサロンを月 2 回、シネマサロンを月 1 回開催</p>	3年目
3 NPO 法人 つるみままっぷ	<p>「子連れ鶴見散策オススメ地図 英語版つるみままっぷ作成事業」</p> <p>鶴見区に住む、英語を母国語とする 0~3 歳児を育てる保護者が、散策を楽しめる地図を手にしたり、鶴見の見どころを知る機会を得、また日本では当たり前と思われていることを知ることを通して、子連れで外に出る機会が増え、鶴見の地域や人とのつながり、日常の些細なトラブルが減り、その方たちが鶴見で住みやすくなることを目指す。</p> <p>○子連れ鶴見散策オススメ地図・日本に住むとき知っていると便利な情報紙の作成</p> <p>○鶴見の見どころツアーハンズオンの開催</p> <p>○地図完成を祝う交流会の開催</p>	2年目

4	まなひろ	<p>「情報教育学習支援事業」</p> <p>障がいをもっている子、外国につながる子、親といった人を主に対象とし、情報機器の操作、ツールの活用教育を行い、生活上の困難さを減らすことを目的とする。</p> <p>○パソコン操作からプログラミング基礎まで、寄り添いながら学習支援</p>	1年目
5	NPO 法人 なまむぎ こども食堂	<p>「なまむぎこども食堂」</p> <p>①孤食をさせない ②個食をさせない ③学習支援</p> <p>○子どもや一人暮らし高齢者に孤食・個食をさせないための食堂を実施</p> <p>○大学に呼びかけ学生ボランティアを募り、子どもたちの学習支援を実施</p>	1年目
6	ケアラーズカフェ つむぎサロン	<p>「つむぎサロン運営事業」</p> <p>高齢化が進み、要介護者が増える中、家族を介護する介護者（ケアラー）も今後さらに増えることが予想される。しかし現状は、介護者は孤立しやすく、気軽に相談できる場所が少ないという課題がある。そこで、介護者の居場所「ケアラーズカフェ」をつくり、介護者が安らげる場所、地域と交流できる場所を提供する。</p> <p>○お茶を飲みながら介護の話ができるカフェを月2回実施</p> <p>○幅広い世代の交流イベントの開催</p> <p>○地元イベントへの参加</p>	1年目

※各団体からの申請内容をまとめたものです。